

Campus Today



松本歯科大学
発行所 学校法人 松本歯科大学
長野県塩尻市広丘郷原1780
☎ (0263) 52-3100
www.mdu.ac.jp
1部60円

学生有志が長野県総合防災訓練に参加

災害ボランティアセンター開設を想定し訓練 留学生は外国人支援の情報伝達等を学ぶ

長野県と塩尻市が主催する2018年度長野県総合防災訓練が10月21日(日)、松本広域消防局塩尻消防署などで行われ、本学第1・第2学年の日本人学生10人と留学生6人が参加した。災害ボランティアセンターおよび災害多言語支援センターの開設を想定し、防災知識の修得とセンターでの行動をいかにすべきかを訓練を通して学んだ。

本学は2008年に塩尻市と「災害ボランティアとして派遣し、被災者の救済活動を行うこと」に協定を締結している。同協定に基づいて、今回の訓練に関係機関から学生ボランティアの参加依頼があり、計16人の学生が参加した。大規模災害が発生すると、現場のニーズを把握してボランティアを取りまとめ効率的に被災者のもとへ送り出す



視察に訪れた阿部知事に担当セクションの説明をする網野君(左から2人目)



外国人と情報交換する金君(左)と林さん(右)



避難所で情報を伝達する鄭君(左)と韓君(中)

「災害ボランティアセンター」が市内に設置される。学生たちは訓練によって、センターがどのような流れで機能するのかわかった。運営側とボランティア側に分かれ、1. 受付、2. 被災現場のニーズとボランティアの要望をつなぎ合わせるマッチング、3. 活動の注意事項を伝えるオリエンテーション、4. 必要な資料の提供、5. 地図の提供と配車・送付、6. 活動報告の聴取、以上6つのセク

折しも、訓練現場を視察に訪れた阿部守一長野県知事は参加者たちをねぎらい、知事の問いかけに対して第2学年の網野高之君は、自分が担当したセクションはボランティアに被災場所の地図を渡し、使用車両を指示する役目であることを説明した。網野君は「災害が起きないことを願っていますが、災害ボランティアセンターの仕組みについて訓練で学ぶことができました。万が一の場合は自分がボランティアとしてお役に立ちたいと思います」と感想を語った。一方、留学生たちは、「災害多言語支援センター」の設置訓練に参加した。同センターは外国籍住民に向けて、多言語による災害情報の発信や避難所巡回を行うための拠点となり、外国人のボランティア参加が必要となる。第2学年の鄭宗烈君と韓奎榮君らは、災害本部が発信する多くの情報の中から優先的に伝えるべき内容を編集・翻訳して、避難所にいる外国人に伝え、また避難所で困っていることやニーズを把握して本部に持ち帰って報告した。また、金知煥君(第1学年)

スポーツの秋を満喫

歯学部生・衛生学院生が親睦深める

第29回体育祭

松濤祭・体育祭実行委員会主催による第29回体育祭が10月20日(土)、本学陸上競技場で開催され、歯学部生や衛生学院生、教員など約1500人が参加した。午前中は晴れ間が見えたものの午後はぐずついた天気となり、参加者は小雨が降るなか各種競技に全力で取り組み、スポーツの秋を満喫した。

「怪我のないように体を動かして楽しい一日にしましょう」と開会を宣言し、宇田川信之歯学部長、中村浩彰教務部長、衛生学院・栗山絵里奈専任教員が挨拶に立ち、それぞれ力強いエールを送った。



玉入れ競技に挑む剣道部員

競技は部活対抗の玉入れやリレー、チーム対抗の綱引きや障害物競走、個人戦のクイズ大会などの種目が行われ、いずれも白熱した戦いが繰り広げられた。クイズ大会では宇田川歯学部長が出題する本学や地域に関わること、歯科関連、雑学など多岐にわたる問題が参加者の頭を悩ませた。

接戦を制し見事優勝に輝いた衛生学院第1学年の小林詩乃さんは「まさか優勝できるとは思っていませんでしたので、うれしかったです」と喜びを語った。ランチタイムには学生食堂のカレーライスと特製豚汁が振る舞われ、食事中も余興としてハロウィン仮装大会が行われた。参加者は動物やゲームキャラクターの着ぐるみ、お面などを身に付け、メイクを施すなど思い思いの個性的な仮装を披露。なかでも宇田川歯学部長は、自身の研究テーマのひとつである



仮装大会に参加した学生と宇田川歯学部長(後列右端)

閉会式では優勝チームと各競技の勝者が表彰され、賞品が渡された。運営に携わった実行委員の学生たちの努力が実り、歯学部や衛生学院の垣根を越えて全員が楽しめる体育祭となった。

名画で楽しむギリシア神話(20)

トロイア戦争 ②

ここで「世界一の美女」ヘレネ(英語名ヘレン)が登場する。話は「パリスの審判」から十数年をさかのぼる。美女となると思慮分別がない大神ゼウスは、アイトリア王女レダに目を付けた。白鳥の姿に化けて近づくと、鷹に襲われたふりをして彼女の腕の中にとびこみ、まもなく二人の卵を産み、それから二つの卵を産み、それらはポリュデウケスとカストル(男性、後にふたご座の星となる)、ヘレネとクリュタイムネストラ(後に略奪されてアガ멤ムノンの妻となる)が生まれた。(図1)

後者の女性双生児はともに美しく成長した。とりわけヘレネは絶世の美女となり、ギリシア中から求婚者が押し寄せてきた。

父王は、誰を結婚相手に選んでも、それ以外の男たちの恨みを買う恐れがあると困惑した。そこで、知恵者のオデュッセウスが全員に「誰が選ばれるにしても、その男が困難な状況に陥った際には必ず援助する」と誓約させたうえで、ミュケナイの王子メネラオスが選ばれた。数年後に彼はスパルタの王位に就き、ヘレネは王妃となった。

ここでパリスの話に戻る。審判役を果たした彼は、本来の身分が明らかになり、生国のトロイアに戻って、王子としてのさまざまな任務に就いていた。ある日、外交使節団の長としてスパルタを訪問したパリスは、王妃ヘレネと運命的な出会いをすることになる。(図2)

「世界一の美女を与える」と



図1 Leonardo da Vinci: Leda



図2 Angelica Kauffman: Venus induced Helen to fall in love with Paris

約束したアプロディテ女神の後押しもあり、たちまち二人は熱烈な愛情に燃え上がった。まさに周囲がまったく見えなくなる盲目的な恋に陥ったのだ。

パリスは暮夜ひそかにヘレネを連れ出し、快速船で母国に向かった。翌朝、突然の王妃の失踪が、トロイア王子による拉致と知ったメネラオス王は激怒し、追跡の船を出したが、とても追いつけるものではない。

現代の日本でも「スパルタ教育」の名を残しているような質実剛健・尚武の地として知られ

からには、実力でパリスを懲罰し、ヘレネを取り戻すしかない。腹をくくったメネラオスは、実兄のミュケナイ王アガ멤ムノに協力を要請した。他の諸国に対しても「これはスパルタのみならず、ギリシア全体に対する侮辱である。今こそ思い上がったトロイアに一泡吹かせるべきときだ」といった檄文が発せられた。

ギリシアの国々の王族たちの少なからざる者が、ヘレネに求婚したことがあったから、あの誓約を守る義務もあったのだ。かくして、アガ멤ムノを総大将とするギリシア連合軍が組織され、トロイア戦争の火ぶたが切られることになる。(つづく)

(笠原浩)

第60回歯科基礎医学会学術大会 上原俊介講師が学会奨励賞を受賞



学会奨励賞を受賞した上原講師(右から2人目)、中村雅典学会理事長(中央)

9月5日(水)から7日(金)の3日間、九州大学歯学部主催により、第60回歯科基礎医学会学術大会が九州大学医学部百年講堂において開催された。5日には歯科基礎医学会奨励賞の授賞式が行われ、口腔生化学講座の上原俊介講師が表

彰された。同賞は、今年で30回目を迎え、歯科基礎医学に関連した領域において、国内で行われた研究に関する優秀な論文に贈られるもので、本年は、上原講師の他3人の若手研究者が受賞した。

受賞対象となった論文は、昨年8月に発行された米国科学雑誌「Science Signaling」誌に掲載された「Protein kinase N3 promotes bone resorption by osteoclasts in response to Wnt5a-Ror2 signaling」で、破骨細胞による骨吸収のメカニズムの一端を明らかにしたものである。なお、この論文の掲載について行った記者発表の様子が2017年10月発行の「Campus Today」405号3面に紹介されている。

上原講師は、これに先立ち8月17日(金)・18日(土)の両日、千葉市美浜区のクロスウェーブ

ききょう寺子屋教室 ― キッズお仕事チャレンジ 吉田明弘教授が歯科大学の仕事を解説

10月13日(土)、塩尻市の桔梗小学校で「ききょう寺子屋教室 ― キッズお仕事チャレンジ」が開催され、口腔細菌学講座の吉田明弘教授が歯科大学での仕事について児童たちに分かりやすく解説した。

ききょう寺子屋教室は、保護者や地域の方を講師に招き、子どもたちが仕事について体験的に学び、将来に向けた夢や希望を持つとともに、ふるさとへの誇りと愛着を育むことなどを目的に、昨年より行われている。



児童たちに歯科医師の仕事について話す吉田教授

幕張で開催された Bone Biology Forum において、優秀ポスター発表賞を受賞している。2冠達成となった上原講師は、「今回

の受賞を励みに、今後、さらに後世に残る研究を行いたいと思います」と抱負を述べた。

(総合歯科医学研究所 教授 小林泰造)



斜降式救助袋を使った降下訓練

10月12日(金)、大学および病院の防火・防災訓練が行われ、職員や学生ら約180人が参加した。地震で火災が発生したとの想定で行われ、消火訓練や避難誘導訓練、行動訓練などを通じて防災意識を高めた。

午前は臨床研修歯科医を含む新人職員を対象に、消火器取扱説明および消火訓練、消火栓や補助散水栓の取扱説明と放水訓練を行い消火手順を確認した。また本館南棟では斜降式救助袋を使った降下訓練が行われ、4階以上に避難した参加者は取扱説明を受けた後、次々と滑り降りて地上に避難した。

学生の避難誘導訓練および自衛消防隊行動訓練では、実習館216教室で授業中の第1学年業の魅力や意義を体験した。

吉田教授は3、4年生の児童らに本学病院を紹介し、松本歯科大学は歯科医師を育てる学校であることを説明。児童たちは歯科用ミラーでお互いの歯の裏側などを見たり、顕微鏡で歯垢を覗いたりして実際に細菌が動いているところを目の当たりにし、むし歯のメカニズムを学んだ。吉田教授は歯科医師について、むし歯を治療するだけでなく、むし歯などを予防することも大事な仕事であると伝えた。

最後に吉田教授は「先生にとってお仕事とは何ですか?」との質問に対し、「お口から人々を幸せにすることです」と締めくくられた。

防火・防災訓練を実施 職員や学生ら約180人が参加 災害に備え非常時の対応確認

生が机の下に身を隠すシェイクアウト訓練を体験。本部隊および地区隊避難誘導員の指示にしたがって屋外へ避難した。宇田川信之歯学部部長は、「いつ地震や大規模災害が起こるかわかりません。自分の身を守ることを、地域の方々と協力して助け合うことを大切にしてほしい」と呼びかけた。

また、日本スコラ株式会社に由来の炊き出し訓練では、簡易炊飯用不織布製の袋と灯油専用コンロで湯炊きした白飯を参加した学生や職員に配布した。

午後は病院の防火訓練があり、消防用設備の取扱説明や担架、キャリアン(非常用階段避難車)を使用している避難誘導実地訓練および自衛消防隊による入院患者や外来患者の避難誘導行動訓練が実施された。

防火・防災管理者の杉浦雅之総務課長は「自分の身を守ることもできない大きな災害の場合に備え、非常時にどのように対応し行動すべきかを日ごろから気にかけてください」と述べ、前島信也医科病院院長からは「病院に求められる使命について、入院患者の安全確保、傷病者への対応、外部や地域住民の受け入れ、食料の確保など、安全確認や各持ち場のなすべき姿の再確認をしてください」と講評があった。

そのフィールドは世界的に有名な場所、マウンテンバイクとゴンドラで山頂まで行き、トレッキングルートを下るアクティビティが人気だ。下りを楽しむのがメインだが、体力があればゴンドラのない山でも走る道は無限に広がる。e-Bikeの進化で年配の方々も行動範囲が増え、幅広い年齢の方が遊べるようになってきている。

AI化が進めば現在の情報やフィールド、乗り方のデータをもとに、自転車のセッティングを自動で変えてくれたり、部品の交換を促してくれるかもしれない。また自動車の自動運転が行われるようになって、自動車と自転車もネットにつながれば交通事故も防げる、というような想像ができて楽しい。

時代の波に乗り遅れず、幅広い未来を想像していく柔軟な思考が大切だと思う。

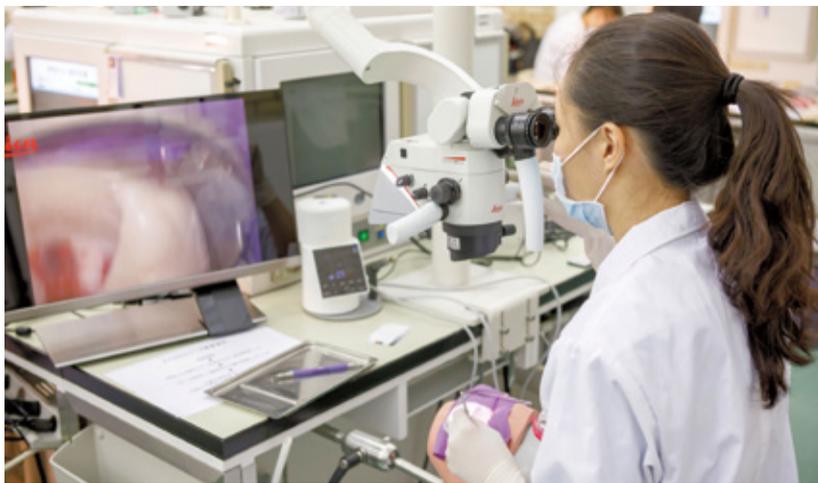
MTBペダリング 随想記



元Jd二五輪日本代表 鈴木 雷太

世界的にすごいスピードでいるようなものが進化している。とくに人工知能(AI)は、人の働き方や生活が変わる。まるで未来映画のようなことが起き始めており、世界は驚愕の連続だ。自転車の進化が目覚ましい。日本だと電動アシスト付自転車のスポーツバイク版である。電池の開発が進みハイパワーでコンパクトになってきた。先日行ったスイスでは、20キロメートルほどある峠道を高齢のグループが談笑しながらサイクリングしていた。欧州ではさほど珍しくない。欧州ではさほど珍しくない。景ではないが、峠道であること、そして全員がマウンテンバイクのe-Bikeであったことが衝撃であった。

第4学年「歯内療法学実習」 マイクロスコープを用い模型歯の根管内を拡大



マイクロスコープで根管内を確認する学生

第4学年の「歯内療法学実習」でマイクロスコープを使用した模型実習が、9月20日(木)に実習館101実習室で実施された。実習では初めての試みであったが、根管治療での活用や歯科医師国家試験におけるマイクロスコープ関連の課題に鑑みて、さらに同実習を充実させていく。

近年、マイクロスコープは歯内療法の分野で積極的に活用されるようになり、拡大視野において今まで肉眼では観察が困難であった根管口の確認や、根管内の破折器具の効率的な除去ができる。さらに付属の画像モニターを使って、患者に治療内容を分かりやすく説明できる有効なツールとして認識されている。

今回は、株式会社モリタのご協力のもと、最新モデルのマイクロスコープを実習室に7台設置した。学生たちはまずマイクロスコープの特徴や用途を理解した後、実際の使用方法に関するデモを受けた。

使用するにあたって各自の利き目に合わせた視度調整が必要となるため、千円札に印字された細かい模様でピント調整を行い、模型歯の観察を行った。日本顕微鏡歯科学会理事・指



ちで学生たちの歓声が上がった。拡大視野で確認できるとあちこちで学生たちの歓声が上がった。顎模型に装着された模型歯に

山本教授らが実習をサポート

学生有志がボランティア参加し アスリートの歯科健診などサポート

第7回スペシャルオリンピックス日本

愛知県各地で開催された「2018年第7回スペシャルオリンピックス日本 夏季ナショナルゲーム・愛知」において、9月22日(土)・23日(日)の両日、本学から第5学年と第6学年の学生12人が医療ボランティアとして参加し、アスリートのブラッシング指導や歯科健診をサポートした。

参加したのは、第6学年の伊

波和可乃さん、上田愛佳さん、島田彩さん、第5学年からは浮村志保さん、大谷有希さん、金唯真さん、久世朋弘君、黄鈴雅さん、小山尚人君、清水まやさん、山田蘭子さん、楊苡詢さん。

スペシャルオリンピックスとは、知的障害のある人たちにさまざまなスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競



歯科健診をサポート



ボランティアの参加者たち

マイクロスコープ用のファイバーを挿入する過程では、「前後が反転するため操作が難しい」と戸惑う学生もいたが、実習が終わった学生たちからは「根管の奥までよく見えた」、「実際の診療で使ってみたい」など大好評であった。しかし、実習の都合上、一人の学生がマイクロスコープを使える時間が限られており、十分な時間を確保できない

学生がスポーツを通して健康増進を図り、勇気をふるい、喜びを感じ、家族や他のアスリートそして地域の人々と、才能や技能を分かち合う機会を継続的に提供することを目的としている。

今大会にはアスリート約1000人、役員・コーチ約550人がボランティア延べ4500人が参加した。

そのうちの歯科部門として、アスリートへのブラッシング指導と歯科健診を行った。

学生たちは競技会場となったスカイホール豊田において、地域連携歯科学講座の小笠原正教授の指導のもと、主に体操競技を終えたアスリートの誘導に従

事し、アスリートと触れ合いながら、感動を共有した。また、他校のボランティアとの交流も図った。参加した浮村さんは「アスリートの方々が、全力でスポーツを楽しんでいる姿に感銘を受けました」と感想を述べていた。

病院だより vol.5

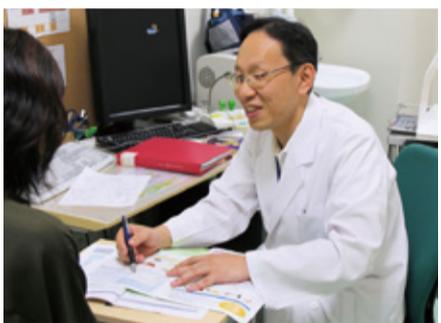
シリーズ専門性③

栄養サプリメント外来

松本歯科大学病院内科に勤務しております神谷仁です。この5月から、当病院の一般内科外来のほかに、専門外来として「栄養サプリメント外来」を始めました。

頭痛、めまい、だるさなどの体調不良があった場合、多くの方は、クスリを使って痛みやめまいを抑えたり、ドリンク剤を飲んでその場をやり過ごしたりといったことをされているのではないかと思います。しかし、もしそれらに根本的な病因があるとしたら、どうお考えになりますか？

実は、不定愁訴として片付けられてしまうような体調不良には、食事の質の低下などが原因となる栄養不足、または、栄養バランスの乱れが隠れていることが多くあります。そのような異常状態にアプローチする目的で専門診療として開始したのでこの外来です。



患者さんに対応する筆者

ここでは、保険診療の範囲では実施不可能な約80種類の血液検査と尿検査から、栄養の不具合、バランスの乱れについての詳細なレポートを作成し、個々

の症状からその中でも特に重要と考えられる栄養成分を見つけて出し、食事内容の改善に向けたアドバイスをしています。また、特に食餌療法のみでは不足すると考えられる栄養素については、医療機関でのみ用いられているサプリメントを使用した補給を行ってもらうことに

第2回FD研修会 歯学系 臨床能力試験 トライアルから正式実施に向けて 俣木志朗教授が解説



講演する俣木教授

9月27日(木)、診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験(臨床実習後客観的臨床能力試験)より東京医科歯科大学の俣木志朗教授をお招きし、「歯学系臨床能力試験について」ト

当日の内容は、2020年度第2回FD研修会が開催された。より全国統一試験として実施が決定している「臨床能力試験」、すなわち現在行われている臨床実習前共用試験(CBT、OSCE)に加えて、診療参加型臨床実習後に技能について客観的評価を行う試験の準備、概要説明であった。

臨床能力試験とは、公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構(CATO)の共用試験歯学OSCE実行委員会が実施主体となり、「臨床実地試験」と「一斉技能試験」をパッケージ化して実施するもので、臨床実習終了時の歯学生の臨床能力を評価する。「臨床実地試験」は、歯学教育モデル・コア・カリキュラムに提示された処置を題材に、診療参加型臨床実習の現場で、主に学生の態度を評価し、歯科医師として臨床研修を始めるにあたり、求められる能力を備えていることを確認する。「一斉技能試験」では、複

(歯科保存学講座 主任教授 吉原伸志)

Alumni News

松本歯科大学校友会

群馬県支部

総会にて新執行部が決定

群馬県支部総会が、前橋市のホテルラシーネ新前橋で7月7日(土)に開催されました。



総会に先立ちサンメデイカル株式会社の前田社長と島村新支部長

総会に先立ちサンメデイカル株式会社の前田社長と島村新支部長を用いたフタバポストシステ

岡山県支部 在学生激励会

8月11日(土)、午後7時より岡山市北区のメルパルク岡山にて毎年恒例の在学生激励会を行いました。

顧問の本学歯科薬理学・教授の十川紀夫先生をはじめ、会員22人、学生4人、業者1人(日本メデイカルテクノロジー株式会社)に加え、東京で就職し帰省中の藤田悠先生(40期生)、岡山大学歯学部で研修中の千葉県出身の黄野頂策先生(41期生)、広島県出身の佐藤奈月先生(41期生)、滋賀県出身の南條和彦先生(41期生)にも参加していただき、32人で開催しました。

多くの先生が本会執行部の先生と豪雨で被災された先生方への義援金、お見舞金のご話合われていました。会半ば、主役の学生4人に自己紹介と今後の抱負や目標を話してもらい、その都度OBの先生方から激励の一言をもらって、いたり卒業後の進路はどうするか質問を受けたりしていました。岡山大学で研修中の先生方にも自己紹介と今後の進路等話していただきました。会は終わりに近づき、日本メデイカルテクノロジー株式会社の岡本純一さんによる金属回収についての説明の後、土肥龍勝先生(21期生)から閉会の辞をいただいていたところ、水川支部長がサプライズ的にご登壇されました。これは今回の豪雨で被災したこと、自分が参加すれば学生の激励ではなく、自分が激励を受ける会になってしまおうからというご本人の配慮から、会の最後に支部長としての挨拶と学生に激励の言葉を送りたいということでした。そして午後9時になり、全員で集合写真を撮り、1次会は無事終了しました。

2次会も定員オーバーになるほど多くの先生方にご参加いただいたのハンスオンセミナーを行い、研鑽を深めました。今回の総会で長年、支部長を務めていただいた井田純司先生(9期生)が退任されました。井田先生お疲れさまでした。新執行部は支部長・島村修(11期生)、副支部長・小林弘明(11期生)、専務理事・増田康展(19期生)、常務理事・牧井覚方(29期生)となりました。皆で力を合わせやっていく所存です。西日本豪雨で被災された方々が、1日も早く日常を取り戻せることを願って折ります。

岡山県支部文化理事 22期生 菅木裕介



顧問の十川教授(前列左から4人目)を囲む会員

岡谷酸素(株)・古屋光一氏を招き病院医療安全講習会

2018年度第1回医療安全講習会が10月1日(月)、本館601教室で開催された。前半では、岡谷酸素株式会社医療ガス課主任の古屋光一様を講師としてお招きし、医療ガスに係る事故防止対策についてお話しいただいた。



医療ガスの事故防止について説明する古屋氏

まず、医療ガスに関連した医療事故やヒヤリハット事例を紹介いただき、次いで高圧ガスの取り扱いと本院における医療ガス設備につき解説された。特に酸素ボンベの取り扱いについて、

方針について説明があった後、「術後感染予防における抗菌薬適正使用のガイドライン」の概要が紹介された。手術創分類での口腔領域手術の位置づけ、推奨される抗菌薬や投与期間について説明があった。ガイドラインで推奨されている抗菌薬が、必ずしも保険で適応とならないといった問題点もあるが、本日の受講内容を、外科的処置を行う際の術後感染予防に役立てていただきた。今回受講できなかった職員に対してDVD視聴による補講を2回行う予定で、受講率100%を目指したい。

人事異動

〔退職〕 9月30日
小池 愛美 (臨床検査室視能訓練士)
横山 弥生 (看護師等講師)

〔採用〕 10月1日
大久保幸子 (薬局薬剤師(パートタイム))
中村由起子 (看護師等講師(契約職員))

11月行事予定

4日(日) 一日体験入学(歯学部)
7日(水) 大学院I期入学試験
15日(木) 大学院I期入学試験合格発表
17日(土) 公募制推薦入学
19日(月) 指定校推薦入学
20日(火) 校友会女子入試
21日(水) 衛生学院公募制推薦入学(合格発表)
26日(月) II期試験(第5学年)
28日(水) 大学院発表会
29日(木) IV期試験(第6学年)

東京歯科大学・石井武展先生が講演

10月12日(金)に総合歯科医学研究所セミナー室において、東京歯科大学歯科矯正学講座講師・石井武展先生をお迎えし、「破骨細胞融合因子であるOC-STAMPの機能解明と制御」について講演された。

石井先生は、2012年〜2016年にThe Forsyth Institute (Boston, USA)に留学され、その間にOC-STAMP (osteoclast-specific transmembrane protein) に関する研究に従事された。OC-STAMPは破骨細胞の融合に必須な因子である。OC-STAMP遺伝子欠損マウスは、単核細胞の前破骨細胞は存在するが、多核の破骨細胞は存在しない。それにもかかわらず、OC-STAMP欠損マウスの骨組織には顕著な異常が観察されない。石井先生たちは、OC-STAMP欠損マウスの臼歯を結紮した歯周病モデルを解析したところ、歯槽骨吸収が抑制されていることを見出した。そこでOC-STAMPに対する抗体を作製し、歯周病モデルマウスに投与したところ、OC-STAMP抗体は歯槽骨吸収を効果的に抑制した。この研究成果は、FASEB Journal誌(33:4016, 2018)に掲載され、注目をされている。

NEW FACE

本年度に新しく職員の仲間入りをされた本学病院で働く歯科衛生士さんをご紹介します。

牛丸 愛理さん
松本市出身

医療関係の仕事に就きたいと思った時に、幼いころから通っていた歯科医院の歯科衛生士さんをお願いし、歯科衛生士さんを目指しました。

患者さんや病院スタッフに対して常に思いやりの気持ちを持ち、目標の歯科衛生士さんに少しでも近づけるよう成長していきたいです。また、歯周病の予防と治療に関する知識や技術を修得して、歯周病学会認定歯科衛生士になれるよう日々がんばります。

松本歯科大学主催

「第5回カムカムメニュー・写真コンテスト」

入賞作品発表のお知らせ

テーマ：よく噛んで食べよう～カムカムメニュー～

発表：11月10日(土) 午後2時30分～
本学図書館2階学生ホールにて
◆展示発表：午後1時～3時
◆表彰式：午後2時30分～

特別講演：午後1時30分～2時30分
「味のリズム」
講師：ホテルシェラリゾート白馬 総料理長 金澤光久さん

カムカムメニュー入賞作品試食会：午後3時30分～5時30分
創立30年記念棟2階カフェテリアにて
入賞作品の中から数種のレシピを再現し、料理をお出しします。ぜひご賞味ください。

【お問い合わせ】松本歯科大学 社会貢献・地域連携推進センター
TEL 0263-51-2090

Economic News 内外の経済 10月30日付

日本	21,094.73円	米ドル	113.44円	0.20%
米国	24,442.92ドル	英ポンド	144.96円	0.10%
▶金地金店頭価格(消費税込み)		スイスフラン	113.22円	0.01%
売り(1グラム)	4,845円	ユーロ	128.92円	0.01%
買い(1グラム)	4,760円	タイバツ	3.46円	0.10%
▶白金地金店頭価格(消費税込み)		日本円	—	0.01%
売り(1グラム)	3,353円			
買い(1グラム)	3,224円			

(SMBIC 信託銀行HP等より)